



ピカピカの入園児たち

寄幼稚園入園式 4/9(木)

第1回定例会の概要・予算質疑	…2
新設条例・条例改正・同意	…5
産業厚生常任委員会報告	…6
議案審議結果一覧	…7

一般質問	…8
議員行政視察報告	…12
議会基本条例検討委員会調査報告	…13
住みやすい町を目指して⑳	…14

平成27年度 9会計の予算を可決 総額73億8,130万円

前年度に対して 4億2,612万円の増額

平成27年度の一般会計及び特別会計の予算が提案され、3月6日と12日に活発な審議が行われました。このうち一般会計予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、そこに付託して10日に副町長以下、参事・課長職から係長職の職員40余名出席のもと、詳細に審査が行われました。この審査結果については、12日に委員会報告（4ページ参照）が行われ、採決の結果賛成全員で可決されました。

一方、8特別会計予算については、質疑の後、採決が行われ、すべて原案どおり可決されました。

ここでは、一般会計予算の主な質疑内容の概要について、掲載（2～4ページ参照）します。

第1回定例会

平成27年第1回議会定例会会期
3月3日(火)～3月12日(木)

- 第1日目（3日） 一般質問5人（5件）
 - 第2日目（4日） 一般質問3人（3件）
 - 第3日目（5日） 町長提出議案（条例・補正予算）17件を審議。
 - 第4日目（6日） 平成27年度一般会計予算の説明・質疑後、予算審査特別委員会（10日開催）へ付託。工事予定箇所現地視察。
 - 第5日目（12日） 産業厚生常任委員会報告、平成27年度一般会計予算審査特別委員会報告後に国民健康保険事業特別会計他7特別会計を審議、追加議案1件、同意案件4件、議会基本条例検討委員会調査報告、各種報告などが行われ閉会した。
- 主な審議状況は、次のとおりです。

一般会計 予算の 質疑

方針

質 自治基本条例を策定し、住民の声や力を集めた住民主権の町政運営を行うと公約されているが、予算に何も計上されていない。どう考えているか。

者と打ち合わせをしている。まだ具体的な金額の話をする段階まで来ていない。4月以降も話を進めよう。

答（町長） 今回の予算には反映されていないが、自治基本条例策定に向けて準備をしており、必ず策定する。

質 寄地区振興のための一策として、みやまグラウンドの有効活用をサッカーグラウンドとして使用する検討状況は。

答（町長） 土地は借地ですので、慎重に進めていく必要がある。サッカーだけでなくいろいろな用途に使用されているので、総合的に検討したい。

質 土木事務所跡地を第4回定例会の中で、平成27年度に購入して、翌年改修し子育て世代向け住宅として活用したいと言っていた。土地取得の予算が計上されていないが、どうなっているのか。

質 新松田駅周辺の整備や都市マスタープランは、どのように考えているか。

答（総務課） 県や松田警察署の担当

答 (町長)

駅周辺の整備は、地権者の方や地域の方々と一緒に、今後のまちづくりに対する意見交換をして進めていく。

答 (まちづくり課)

都市マスタープランは、県の都市計画等の指針を基本に、町の将来の姿を地区別等にも分けて、町民の意見も反映させながら計画策定をする。

質 ICT教育が平成27年度から本格採用される

が問題はないか。

答 (教育課)

昨年、試験的に実施し

た。当初は先生や生徒に戸惑いがあったが、1年が経過すると肯定的な意見が圧倒的だ。先進的事例として取り組んでいく

が、負の部分も十分検証する。



昨年度のタブレット授業の様子(松田小学校)

収支・財政

質 町税や人口も減っている。早く手を打たないと財政調整基金は底をついて、予算が組みなくな

答 (副町長)

るが。財政状況を示す各数値

質 予算に一時借入金利

子が計上されているが、借入を予定しているのか。

答 (副町長)

地方自治法の規定に基づき、一時的な資金不足が生じた場合に備え、一時借入金を毎年計上し、それに伴う利子を予算化している。銀行から一時借入しなくてもやり繰りができるものと考えている。予算積算上の形というところをご理解願いたい。

質 定住化を促進するため町営住宅建設が必要

だ。予算化はいつ行つのか。

答 (副町長)

平成27年度に実施設計委託料1500万円を計上した。平成28年度以降建設を計画している。

質 常備消防費のうち小

田原市消防への負担金が大幅に増加している。広域化により経費は削減されるはずだが。

答 (安全防災担当室)

職員の給与増と元足柄

消防組合職員の退職金充当分が、増加の原因となっている。

質 個人町民税の納税義務者数の推移と税額は、

どのくらい見込んでいるか。滞納繰越分が約800万円あるが、収納対策はどの進めているか。

答 (税務課)

均等割の納税義務者は、平成27年度は120人減少している。所得割額は、平均1人当り11万3千円を見込んでいる。強制的な差押えや口座振替・分納の推奨、訪問による収納など鋭意努力している。

質 観光協会補助金が245万円増加している。

機構改革により観光経済課は、動きやすくなったのではないか。

答 (観光経済課)

現行のイベント事業の実務は、観光協会にお願いしたい。町は、他市町へのイベント情報などの

外部発信に努める。

質 特産品開発補助金100万円と松田ブランド事業50万円の具体的な使途は。

答 (観光経済課)

特産品開発事業は、1事業20万円で5件を予定している。松田ブランド事業は、特産品や地場産品の一定水準以上をブランド化し、ふるさと納税の返礼品等としてホームページで発信する。

施設

質 町営住宅借地料が727万円計上されている。移転交渉は進んでいるのか。

答 (総務課)

建物が老朽化して安全性が危惧される。居住者の高齢化や生活圏の変化など問題は多いが、移転交渉は続けている。

質 子育て支援センター

質 下水道事業特別会計への繰出金1億8300万円であるが、使用料見直しの予定はあるか。

答 (環境上下水道課)

下水道審議会の答申もあり、平成28年度に使用料の見直しを予定している。

質 町内団体の公民館使用料は、改定するのか。

答 (教育課)

使用料の見直時期がきているので検討する。

質 は、老朽化が進んでいる。防災ヘルメットの設置計画はあるか。

答 (子育て健康課)

平成27年度に耐震診断を行う。ヘルメット設置は、防災対策上検討する。

質 体験実習館改修費519万円について、具体的な利用団体・方法は決まっているのか。

答 (観光経済課)

特産品や松田ブランド開発を進める場としていきたい。いろいろな団体の利用が考えられる。

質 寄小学校・寄中学校の生徒用トイレが未改修だ。計画に入っているのか。

答 (教育課)

学校の要望を聞き修繕計画に組み入れる。

質 町民文化センターの活用が停滞している。国庫補助の対象となる劇場・音楽堂として活用できないか。

答 (教育課)

松田町には適合しない

質 交通弱者対策として、寄地区枝線運行便の増発はできないか。

答 (政策推進課)

4月から土曜日の枝線運行を新たに設定する。

質 プロモーション事業とは何か。

答 (政策推進課)

四季折々のイベントを動画としてホームページに掲載し、町の魅力を外部に積極的に発信する事業です。

質 縁結びサポート事業の一環である「ふるさと同窓会」とは何か。

答 (定住少子化担当室)

松田町内で同窓会を行うと、1人2千円、限度額5万円を補助する制度で、出会いの機会を広げる事業である。

その他

が、映画館的な利用については検討する。

質 福祉タクシー券の支給枚数を増加できないか。

答 (福祉課)

1か月に2枚、人工透析者には4枚支給しているが、利用率は55%程度であり、障害者団体の声を確認する。

質 有害獣防護柵の補修が追いつかない。増加が見込まれる耕作放棄地対策は。

答 (観光経済課)

狩猟免許取得費の全額補助など、猟友会会員の増加を図ると共に、1市5町の協力体制を検討する。

質 芋焼酎の生産販売は、今年も続けるのか。

答 (観光経済課)

芋の生産は休止する

予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入は一括、歳出については、款項ごとに審査しました。歳入の根幹である町税は、納税者人口の減少と建物の評価替えなどにより減となり、加えて地方交付税も減となっていることから、厳しい予算編成となっています。

一方の歳出においては、平成26年9月の決算審査特別委員会で指摘した事項が先送りされています。さらに、定住化を図るため狭あい道路の改良工事等については、十分な予算配分といえない状況となっています。これらのことを踏まえ、次の項目について強く申し入れて、賛成することとしました。

- (1) 財源確保と地場産業育成のために、「ふるさと納税制度」の積極的な取り組みをすること。
- (2) 既存町営住宅居住者の住み替えに取り組むとともに、統廃合後の土地についての定住化を促進すること。
- (3) 住宅地内の狭あい道路の解消や未利用地を有効活用するために、町道改良・新設工事についての早期実現に取り組む人口増を図ること。
- (4) 平成25年度に凍結した寄地区の体験実習館改修工事が、再度予算計上されています。しかし、利活用の方針が明確でないことから十分な利用計画を提示してから執行すること。



予算審査特別委員会での審議



芋焼酎「震旦郷」

が、手持ちの芋で今年の焼酎は継続販売できる。

要を満たしていない。新規事業者の選定は進んでいるか。

答 (観光経済課)

販売商品の内容を精査すると共に、新規事業者の開拓を図る。

質 学校給食材料に地元産品を取り入れているか。

答 (教育課)

地場産使用割合は35%あり、J・Aかながわ西湘から調達している。地元

質 幼稚園運動能力テストや小学校体力向上推進事業の具体的な活動は。

答 (教育課)

幼稚園年長から小学6年生までの運動能力向上を図るため、体力測定などから実態を把握し、必要なスポーツを選定する。

質 現在実施している移動販売事業は、地域の需

新設条例・条例改正・同意

●松田町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

こども園、小規模保育事業・家庭的保育事業・居宅訪問型保育事業の利用者の負担額等を定めるため整備し、松田町保育の実施に関する条例は廃止するものです。

●松田町教育長の勤務時間、休暇等に関する条例

以上2件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育長の新たな職に対応するため、整備するものです。

●松田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、松田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

●松田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、松田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

●松田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、松田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

幼稚園・保育所・認定

幼稚園・保育所・認定



増築された松田さくら保育園

を1年延長し、平成28年3月31日までに改正するものです。

●松田町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料率について基準額等の改定をするもので、産業厚生常任委員会に付託されました。(詳細は6ページに掲載)

●松田町指定地域密着型サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

松田町指定地域密着型サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●松田町指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

松田町指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●松田町指定介護予防支援の人員の員数並びに支援の事業の運営及び介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

以上3件は、介護保険法施行規則等の省令の公布に伴い、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等が改正されたため、所要の改正をするものです。

●松田町立幼稚園保育料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、町立幼稚園の保育料を5段階の階層別に変更する等の改正をするものです。(詳細は7ページ参照)



元気に遊ぶ松田幼稚園児

●固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成27年3月22日及び4月24日をもって2名の委員が任期満了となるため、次の方が選任(再任)されました。

氏名 山口 敬一 氏
氏名 山岸 榮市 氏

●人権擁護委員の推薦について

平成27年6月30日をもって2名の委員が任期満了となるため、次の方が推薦再任されました。

氏名 増田 勲 氏
氏名 平賀 康雄 氏

以上審議の結果、原案のとおり可決・同意した。(詳細は7ページ参照)

松田町介護保険条例の一部を改正する条例

この議案は、3月5日の本会議で産業厚生常任委員会へ付託された案件で、第6期介護保険事業計画の策定に伴い条例を改正するものです。

3月9日に産業厚生常任委員会委員5名（石内浩委員長、利根川茂副委員長、齋藤永委員、寺嶋正委員、大館秀孝委員）

出席のもと、副町長・福祉課長・福祉課職員からヒアリングを行い、審査した結果は、次のとおりです。

審査の概要

【質】介護サービスありきというだけでなく、お年寄りが元気で働けるよう

な場づくり、三世同居を推進するなど、多世帯家族の支援を図るべきだ。

【答】（副町長）

町にあったお年寄りの就労にもつながる政策を考えているが、いい事業が見つからない。皆さんからの提案があれば参考にしたい。介護保険は、国の制度であり、保険者として保険料率を算定しなければならぬので、ご理解いただきたい。また、多世帯対策は、

町としても重要だと考え、そのための補助を考えている。

【質】高齢者の増加が見込まれるが、今後の要介護認定率の推移は。

【答】（福祉課）平成25年度までの推移は、13%台だったが、平成26年度は14.1%、平成29年度は16.4%の見込みである。特に後期高齢者の人口割合が増えること、認定率の増加を推計せざるを得ない。

【質】介護保険財政調整基金の取り崩しの考え方は。

【答】（副町長）社会福祉協議会には、町から補助金も出し、メンバーも揃っている。社会福祉協議会に投げか



産業厚生常任委員会での審議

け、当事者団体の現状を改善する状況をつくり出せるように努力をする。

審査の結果

採決により賛成全員で可決し、本会議で委員会報告後に採決を行い、賛成全員で原案のとおり可決した。

第1回臨時会

平成27年第1回臨時会は、1月21日の(水)に開催され、教育委員会委員の任命について、原案のとおり同意し閉会しました。

●教育委員会委員の任命について

平成27年1月24日をもって1名の委員が任期満了となるため、次の方が同意(再任)されました。氏名 杉本 葉子 氏

産業厚生常任委員会報告書(抜粋)

「松田町介護保険条例の一部を改正する条例」について、介護保険料の基準額(月額)が3,700円から4,600円に改定される積算根拠について、重点的に審査しました。

その内容は、介護保険料の所得段階別加入者数と保険料の設定、財政調整基金の推移、県西地域保険者の介護保険料推計額などを参考とし詳細に審査した結果、介護保険料の改定は適正なものと判断した。

特に、生活保護受給者や低所得者への軽減措置が設定されていることや、県西地域において低位の基準額であることから、次の条件を付して賛成することとした。

- (1)高齢者への新しい地域支援事業として、介護予防・日常生活支援総合事業を積極的に展開し、高齢者が生きがいをもって社会参加できるように支援を行い、次回(平成30年度)改定時の介護保険料については抑制に努めること。
- (2)新しい地域支援事業、地域や福祉関係機関、医療機関との協働・連携により地域包括ケアシステムの構築を進め、高齢者が重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる生活を最大限支援すること。

議案審議結果一覧

第1回定例会(3月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 同…同意 欠…欠席 退…退席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	廣	中	飯	利	小	石	鍵	齋	鈴	寺	大
				瀬	野	田	根	澤	内	和	藤	木	嶋	館
				幸	博	一	茂	啓	浩	貴	永	眞	正	孝
				男				司		美		徳		
議案 1	松田町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
2	松田町教育長の勤務時間、休暇等に関する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
3	松田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	松田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○
5	松田町行政手続条例等の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	松田町情報公開条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	東北地方太平洋沖地震による被災者に対する支援に関する条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	松田町介護保険条例の一部を改正する条例 (産業厚生常任委員会報告)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	松田町指定地域密着型サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	松田町指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	松田町指定介護予防支援の人員の員数並びに支援の事業の運営及び介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	平成26年度松田町一般会計補正予算(第6号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成26年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成26年度松田町寄簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成26年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成26年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成27年度松田町一般会計予算(予算審査特別委員会報告)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成27年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成27年度松田町上水道事業会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成27年度松田町寄簡易水道事業特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成27年度松田町下水道事業特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成27年度松田町介護保険事業特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成27年度松田町用地取得特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成27年度松田町後期高齢者医療特別会計予算		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
27	松田町立幼稚園保育料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 2	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	人権擁護委員の推薦について		同	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	人権擁護委員の推薦について		同	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 菅谷一夫議長は採決に加わらない。

※ 議案第12号は、再考のため撤回され、追加議案として議案第27号を審議し可決した。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

不妊治療に対する助成を！



質問者
利根川 茂 議員

全国的な人口減少社会に突入し若い女性も半減して、あと25年から26年後には、隣接町と本町は消滅してしまう可能性があると言われています。本町はピーク時に比較して、2000人余りも人口が減少しています。そして、少子化対策は深刻な課題です。一方においては、欲しくても子どもに恵まれない方もいます。様々な方法がありますが、健康保険も適用されず高額な費用がかかり、経済的に苦勞されている方もいられます。

東北のある自治体では、100万円を限度に助成している所もあります。神奈川県では一定の

不妊治療の助成については、昨年の4月頃から検討してきた。どのタイミングで打ち出そうかと、考えているところだ。

補正予算で対応したい

回答（町長）



開成町では、県の補助に上乗せしているので、松田町でも同様に実施したい。今回、当初予算では計上できなかったが、我々の研究がある程度段

27年度予算に対する町長の強い思いについて



質問者
中野 博 議員

町長に就任して二回目の予算となりますが、緊縮財政のため厳しい予算編成であったものと御推察いたします。

- ① 新たに設置された安全防災担当室の取り組み
- ② 高齢者が元気に暮ら

階を踏んだしかるべき時に、もし27年度中にご提案できれば、補正予算等を組んで実施したいと考えている。

熱き思いを持って！

回答（町長）



せる老人福祉対策
③ 農業・商業・観光業を通じた町の活性化対策

- ① 今後予想される地震防災対策強化や減災行

動・隣近所の共助・避難所運営等の普及啓発を図るため、自主防災会強化事業経費を予算化した。また、県での最新の科学的見地に基づく地震被害想定結果を踏まえ、町地域防災計画の見直しを順次進める。

② 高齢者が安心して生活を継続できるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現を目指し、生活支援体制整備を進めていく。

③ 農業・商業・観光の活性化のため、連携による松田ブランドや地場産品等の開発を図りPR活動の強化に努める。

また、交流人口・定住人口の増を図り、第2第3のブランド品が生まれ、地域の中でアイデア合戦が始まることで、町内に賑わいが戻るように、活性化を図っていく。

活性化策を提案する



質問者
小澤 啓司 議員

少子高齢化・人口減少・消費不況など我が町を取り巻く環境は厳しさを増し、税収のさらなる減少が予測される。活力ある町づくりを推進するために、次のことを提案する。

① 平成27年度より「ふるさと納税」の控除限度額が2倍に拡大され、自治体間の獲得競争が加速する。地場産業育成のためにも魅力ある返礼品を取り揃える等、積極的な対応が必要だ。

② 松田氏の子孫が金沢市に在住し、松田氏のルーツを調査している。全国の松田姓に呼びかけ、我が町で「松田サミット」を開催してはどうか。

③ 商店街共通の「やっこさんシール」が加盟店や金融機関で流通している。税金や水道代・使用料支払いなどに活用できないか。

A

全国に呼びかけ「松田サミット」開催を検討する

回答
(町長・教育長)

① 平成26年度の納税額は63万円にとどまる。町の魅力の発信や観光PRにもなることから、サクラムスの加工品など特産品の開発に努力すると共に、納税しやすい制度の導入を検討する。

② 松田姓を持つ人は全国に5万人いる。金沢市にも松田姓の子孫がいて、ルーツを調べている。こういった方をお招きし講演会を開くと共に、全国に呼びかけ「松田サミット」の開催を企

画したい。

③ 地方自治法や松田町会計規則に抵触することから、「やっこさんシール」を利用した直接支払いはできない。商店街活性化に向けた取り組みは、今後も商工振興会と協議していく。

国の地方創生政策に対し松田町の27年度当初予算の配分は？



質問者
大館 秀孝 議員

去る2月13日、27年度当初予算の概要が発表されました。歳入面では、町税△1・6%、地方交付税△1・8%、国庫支出金△1・3%、県支出金△1・8%と全てが減額されています。それに

対し、財政調整基金からの繰り入れが98・3%増の1億4千万円、毎年取り崩してはすぐに底をつくのではありませんか？

歳出面では、人口減少が続いているさなか人件費5%、4361万円増、普通建設費25・4%、7470万円減としていますが、町の活性化・人口増加策・地方創生への取り組みができるのかお伺い致します。



商品化されたサクラムス

A

事業ごとに優先順位をつけ重点的に予算を配分

回答 (町長)

し、町民のためになる事業には重点的に予算付けをした。

今回の予算編成は、徹底的に無駄を省き限られた財源で、「安心・安全・住み良い町」「子育て世代支援」「行財政改革」の3つの柱を重視し、事業ごとに優先順位を付け未来への投資と

しかし、国の財政計画は税収増を見込んでいますが、松田町では納税者人口の減と、地方交付税の減額が想定されている。人口ビジョンによる今後の人口問題に対する「地方版総合戦略」策定に当たっては、一部局での計画案作成でなく全庁で取り組むと共に、産業界・教育機関・金融機関・労働団体・メディア等との連携協力を図っていく。

「1788通りの処方せん」に向けた町の取り組みについて



質問者
石内 浩 議員

人口の一極集中が続く中で、日本経済は減速が続く。今の経済成長モデルでは限界とされる中で、今こそ地方が元気で活力を創り出す大きな手

① 現在の活性化事業で成果を上げているのは民間企業が殆ど、民間の活力をどう利用しどう取り入れるのか。

② 「1788通り（都道府県と市町村の数）の処方せんを寄せ」に対し、従来の積み重ねが生かされるとは限らない。

③ 人口減・生産人口確保が最終、最大の目的となるとして、例えば「空き家対策」の現状と将来形を早急に明確化すべきだが、その方策と実行予定は。



朝の新松田駅南口

① 松田の元気を取り戻し、さらに活力を生むチャンスと捉え、民間業者や町民の協力等を得て、地方創生に積極的に取り組みたい。

A

松田版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する
回答（町長）

方面からのメンバーによる審議会を組織し、役場内の横断的組織も立ち上げる。

③ 町では、空き家対策として「空き家バンク」制度があるが、さらに周知方法や持ち主等との連携に努める。調査結果では、空き家51件、空き地11件、空き店舗10件があった。今後「空き家バンク」への登録増加と、移住希望者等への情報発信を進める。

また、住宅政策として、子育て世代の方や宅建協会、大学などと意見を交換し、生産年齢人口確保につなげる。

定住化促進及び少子化対策の今後の取り組みは



質問者
飯田 一 議員

① 平成26年10月1日付で組織の改編が行われ、「政策推進課定住少子化担当室」が発足しま

した。人口減少が厳しいなか、町民としては非常に期待が大きいものがあります。今後の定住少子化担当室の取り組みについてお伺いします。



A

教育に力を入れ人材育成に努める

回答（町長）



② 国の方では、地方版総合戦略（各地方公共団体の2015年〜2019年の5ヶ年の政策目標・施策）として、「切れ目のない施策の展開を行う」としている。松田町での少子化対策の取り組みとして、平成27年度予算への反映はされていますか、お伺いします。

二つ目は「空き家バンク制度」の充実と拡充。三つ目は、自然環境や様々な定住・少子化・子育て・高齢者支援などの事業を、積極的に町内外に発信していく。教育を通して人材育成・子育てに投資をしたい。

② 平成27年度予算に反映した新規事業「縁結びサポート事業」という名称で、若い世代の出会いの場づくりを推進する。「ふるさとまつだ同窓会支援事業」、「二世帯同居等支援制度」の奨励金交付など、切れ目のない様々な施策を展開していく。

① 定住少子化対策の取り組みを総合的に進行管理し、その事業の費用対効果を検証しながら、無

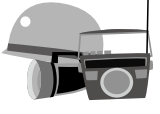
住みやすい町づくりを



質問者
寺嶋 正 議員

① 定住化促進において、バス通学定期券助成・小児医療費助成・学校給食費補助など実施しているが、人口減少に歯止めがかからない。子ども誕生祝い金や給食費の補助拡充、企業誘致で雇用創出を図るなど考えられるが、定住少子化の拡充策は。

② 東海地震等において、防災対策を充実させることが求められている。防災訓練の改善・自主防災組織の育成支援・集会所施設がない自治会の避難所の明確化・災害時における要援護者の避難支援などの対策は。



A 住宅施策・産業・雇用対策を拡充

回答（町長）



① 定住少子化支援として婚活事業を展開し、若者の出会いの場づくりや家族政策などの経済的な支援をする。子どもが誕生した場合に、地場産品を使った記念品や商品券の贈呈を考えている。学校教育充実のためICT（※下記①参照）を導入し、子どもの学力向上につなげる。

住宅施策・産業・雇用対策等を進め、町内在住

の方を3人以上雇用された企業に対して奨励金を交付する。

② 防災訓練では、災害時に自分自身が命と体を守るシエイクアウト訓練（※下記②参照）や、電気製品の電源を切る習慣を身につける訓練等を行

学童保育のさらなる充実について



質問者
鍵和田 貴実代 議員

学童保育は「放課後児童健全育成事業」として厚生労働省が所管し、小学校1年生から3年生までを対象としております。松田町では核家族が増える中、共働き家庭や母子・父子家庭などの子どもたちの放課後の安全な生活を守るために、さらに、4年生までを対象としています。

平成27年度予算で、松

う。

地域の防災について、コーディネートできる方の育成を図る。集会所施設がない中央自治会は町民文化センターを、新松田と中沢自治会は、松田小学校屋内運動場を避難所としている。

田小学校の余裕教室を2部屋使用することについて、お伺いします。

① 子どものさらなる安全を守るために、対象を5年生にするお考えは。

② 新たな子どもの受け入れは、いつからなのか。また、指導員の体制は。

③ 利用人数の増加に伴い運営事業として委託を考えていますか。今後の方針は。

A 学童保育の対象を5年生にします

回答（町長）



① 「子ども・子育て支援法」により、平成27年4月より「子ども・子育て支援新制度」がスタートする。この中で地域ニーズに合わせて、学童保育室を増やすと共に、職員や施設について新たな基準を設け質の向上を図り、体制が整いしだい、対象を5年生へと拡充する。

② 受け入れは、平成27年4月1日から。新規に補助金を活用して2教室の整備を行う。指導員は、現在6人によるローテーションで、常時3人体制であるが、さらに2月15日のおしらせ号と町ホームページで2人を募集中。

……用語解説……

※①ICTとは…情報(information)や通信(communication)に関する技術(technology)の総称。ICTの活用によって医療、介護・福祉、教育などの公共分野への貢献が期待されている。

※②シエイクアウト訓練とは…アメリカで考案された地震から身を守るための防災訓練の方法。指定された日時に、参加者が自身の身を守るために、それぞれの場所で一斉に「1. 姿勢を低く、2. 体・頭を守って、3. 揺れが収まるまでじっとして」等の安全確保行動を行う防災訓練です。

③ 平成27年度に研究し、必要であれば委託も検討したい。

議員行政視察報告

東日本大震災からの

復興状況を現地に学ぶ

平成27年3月18日(水)～19日(木) 参加議員：寺嶋正・鈴木眞徳・鍵和田貴実代・齋藤永・利根川茂・中野博



茨城県大洗町の概要

茨城県大洗町は、茨城県の東部にあり、水戸市と鉾田市に隣接する民謡の「磯節」で名高い風光明媚な、人口17800人で、町の面積24km²の町である。

3・11の大震災

平成23年3月11日、この大洗町を震度6の大震災が襲った。倒壊家屋2000戸余り、柱に当たったの死亡者は1名のみであった。一時避難者3700人余り、電気・水道・電話等は、一週間で



大洗町役場玄関前にて

区内「原子力研究所(原発ではない)」がある。茨城県内は、農業・林業・漁業とも安全です。ぜひ、来てくださいます。

(記録・寺嶋正)

復旧した。

幸いにも震災を受けたのは、午後の時間帯であったため、町長・消防長・町幹部職員等も在席し、命令系統もスムーズに流れた。震災後1時間余りで、

3波にわたり「ツナミ」が来る。約5mのツナミが町中心部に入り、浸水家屋が1500戸余り、役場庁舎も海拔3m余りの所にあり、1階部分が1・5m水没したが、什器・備品は、3階へ運び難をのがれたが、庁用車30台は、すべて運行不能となった。

風評被害が迷惑

小谷大洗町長は、震災前は、年間560万人の観光客が来町していたが、昨年やっと500万人まで戻った。町内の夏海地区に「原子力研究所(原発ではない)」があるので、その風評被害が迷惑である。茨城県内は、農業・林業・漁業とも安全です。ぜひ、来てくださいます。

百億円の復旧費

現在国より、5年間で震災復旧費が百億円くるので、漁港、町道の法面と橋桁の補強、体育施設・学校施設の耐震補強工事が進められていた。

大洗の町内でどこを見てもきれいに改修が進み、震災の後は見えな

い。担当課長が「震災を受け、町民どうしの助け合いの絆が強まった」と語っていたのが、特に印象に残った。



行政視察の様子

6月議会(3日・9時開会)を傍聴しませんか!

松田町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回定例会が開催されます。また、必要に応じて臨時会が開催されます。議会での審議を誰でも傍聴できますので、ぜひ、議場にお越しください。

- ①議場入口に「傍聴券」がありますので、住所と氏名を記載して、入場してください。定員は、25名です。
- ②写真撮影や録音・録画は、議長の許可が必要です。

詳細は議会事務局へ 84-1335(直通)

議会基本条例検討委員会調査報告

3月11日に第6回目の議会基本条例検討委員会（利根川茂委員長・鍵和田貴実代副委員長・小澤啓司委員・飯田一委員・中野博委員 出席）を開催し、調査報告書を取りまとめ、本会議5日目の3月12日に議会へ報告され、原案のとおり承認された。



湯河原町議会の視察研修

本委員会は、平成25年12月の議会定例会において設置され、検討委員会6回・先進地視察研修会2回を行った。視察先は、

- ① 湯河原町議会
- ② 会津若松市議会

議会基本条例の意見交換を行い、平成27年3月議会定例会において、次のとおり報告し、承認された。

議会基本条例の制定状況

自治体議会改革フォーラムが公表した、市町村議会基本条例の制定状況

は、市議会341団体（44・3%）、町村議会186団体（20・0%）となっている。

一方、県内の13町1村うち、寒川町・清川村・松田町が未制定である。

議会改革によって対応している事項

松田町議会改革によって対応している事項は、

- ① 町長等の反問権
- ② 議会広報の「議案審議結果一覧」へ議員個々の賛否の公表
- ③ 県外出張の日当廃止
- ④ 議決を伴う審議会には関与しないこと
- ⑤ 自治会長との意見交換会
- ⑥ 本会議議事録を役場4階図書コーナーへ配架
- ⑦ 政務活動費の公表

開かれた議会として対応すべき事項

松田町議会が開かれた議会として対応すべき事項

- ① 議会報告会
- ② 意見交換会
- ③ 議長・副議長選挙の立候補制と所信表明
- ④ 本会議のテレビ放映
- ⑤ 本会議等の会議録の公表ホームページ
- ⑥ 委員会等の出席状況の公表

条例制定に関する基本方針

新たに広聴事業の企画も担当する。

議会基本条例制定委員会の設置

平成29年9月議会を目前に制定するため、平成28年9月までに議会基本条例制定委員会を設置し、総合計画基本構想や介護保険事業計画などの議決を想定した、簡素で必要最小限度の基本条例の制定を目標とする。

広報・広聴常任委員会の設置

広報委員会を広報・広聴常任委員会に改組し、



会津若松市議会の視察研修

調査の経過

- 平成26年2月3日 第1回検討委員会 検討内容とスケジュール
 - 3月10日 第2回検討委員会 湯河原町議会基本条例の研究
 - 5月15日 第3回検討委員会 北海道栗山町議会基本条例の研究
 - 7月17日 第4回検討委員会 湯河原町議会視察
 - 10月15日～16日 福島県会津若松市議会視察
 - 平成27年2月4日 第5回検討委員会 検討委員会調査報告書案の作成
 - 3月11日 第6回検討委員会 検討委員会調査報告書の作成
- このほか、議会全員協議会で3回、自治会長との意見交換を実施



住みやすい町を目指して...②1

創立50周年を迎えるにあたり

松田商工青年会 会長 久保寺 紀夫 (仲町在住)

松田町商工青年会は、45歳以下の商工業に従事している方を中心に、会員21名で地域振興のために関係者の方々と協力しながら、活動を続けております。また、講師をお招きして講演会を行い、人材育成にも力を入れております。

様々な業種の方が参加しておりますので、メンバーは多種多様で、意見交換をしたり、異業種間交流により横の繋がりができたり、お互いに刺激し合いながら各々の商売に還元できる環境があります。会員は随時募集しておりますので、興味のある方はご連絡ください。

活動内容をいくつかご紹介させていただきますと、松田町の夏の祭典「まつだ観光まつり」で実行委員の一員として企画・広報活動に参加し、また、松田大名行列の演技者として参加するなど文化活動への貢献もしてきました。

秋には「まつだ産業まつり」において、企画・運営に携わる一方、自ら出店し売上金の一部を被災地へ寄付するなどの活動を続けてまいりました。

このような活動を続け、当青年会は、今年、半世紀という大きな節目を迎えます。そこで、「創立50周年実行委員会」を立ち上げ、実行委員長の下、記念事業を企画しております。記念事業の一つに「品川宿場まつり」へ松田町大名行列として昨年9月に参加しました。品川では良い演技を披露する

ことができ、記憶に残る記念事業となりました。沿道の方々からは大きな声援をいただき、品川宿場まつりの運営の方々からは、来年の依頼までいただくほど予想以上の反響があり、記念事業の一つということだけでなく、松田町には「大名行列赤坂奴」があると



商工青年会創立50周年記念
品川宿場まつり2014 に参加された皆さん

広く伝えることができたのではないかと考えております。

これらの活動を続けてこられたのも、諸先輩方や地域関係者の皆様、町民の皆様のご支援の賜物であると深く感謝しております。今後も記念事業を企画しておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています! 第2回定例会は6月3日(水)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報委員会
鈴木	齋藤	小澤	利根川	石内	飯田	
眞徳	永	啓司	茂	浩	一	

丹沢の山脈もすっかり新緑に染まり、緑と清流の町「まつだ」を象徴する季節となりました。今号は、平成27年度予算の審議内容が中心の記事となりました。今後は、新年度予算に対し、チエック機関としての機能も果たして行かねばと思っています。議会としましては、多くの方に議会を直接見ていただき、議会・行政への理解を深めていただきたいと思います。ぜひ、多くの方々の傍聴をお願いいたします。(飯田)

